

グリーン購入法と海外グリーン公共調達基準の整合状況調査

平成 25、26 年度の調査で、日本のグリーン購入法の特定調達品目に照らして EU、アメリカ、中国および韓国におけるグリーン公共調達(GPP)の対象品目を整理し、日本と共通の品目のある国については特定調達品目の判断の基準と、各国の最新の海外 GPP 基準について、整合状況の調査を行った。その概要を以下に示す。

全般的に、海外の GPP の基準は、文具類、オフィス家具(木製を除く)、制服・作業服は、日本では再生材料の使用を主な判断基準としているのに対して、各国では有害物質の観点を取り上げているなど、日本と海外基準の主要な観点が異なり整合していない。また、その他の分野については、主な観点は、省エネまたは節水性能と一致しているものの、整合性という側面では評価方法の差異が多くみられた。

平成 27 年度は、過去の事業者・事業者団体へのニーズ調査で環境ラベルの相互認証の推進や基準の共通化の要望が高かった、プリンタ(コピー機等も含む)、プロジェクタ、電子計算機について、対象国・地域をタイ、台湾、ベトナムに拡大し、調査を実施した。

対象 (大分類)	調査品目	公共調達基準				(平成 27 年度調査分)			日本と海外基準の整合状況
		EU	米国	中国	韓国	タイ	台湾	ベトナム	
文具類	ボールペン、バインダー等	—	○ C	—	○ G	/	/	/	バインダーなどの一部の品目については再生材料の使用の観点が共通しているが、基準レベルが異なり、文具類全般的には主要な観点が異なり整合していない
オフィス家具等	いす、机、棚等	○ A	○ C	○ E	○ G、H	/	/	/	木製家具は合法性の観点が共通している 金属製やプラスチック製の家具などは主要な観点が異なり基準の整合性はない
画像機器等	コピー機等 プリンタ等	○ A、B	○ D、B	○ E、F(★プリンタ)	○ G	○ A	○ I	○ J	省エネ、有害物質に関する観点、基準レベルは多くの国で概ね共通している
	プロジェクタ	—	—	○ E、F	○ G	—	○ I	—	省エネ、有害物質に関する観点は共通しているが、省エネの基準レベルは各国で異なる
電子計算機等	電子計算機	○ A、B	○ D、B	○ E、F★	○ G	—	○ I	—	省エネ、有害物質に関する観点、基準レベルは概ね共通している
家電製品	テレビジョン 受信機	—	○ D、B	○ E、F★	○ G	/	/	/	省エネ、有害物質に関する観点は共通しているが、省エネの基準レベルは各国で異なる
エアコンディショナー等	エアコンディショナー	—	○ B	○ F★	○ G	/	/	/	省エネに関する観点は共通しているが、評価方法は異なる
温水器等	ガス調理機器	—	○ B	○ E	—	/	/	/	省エネに関する観点は共通しているが、評価方法は各国で異なる
照明	電球形状のランプ(LED)	○ A	○ B	—	○ G	/	/	/	省エネ、寿命に関する観点は共通しているが、基準レベルは各国で異なる
制服・作業服	制服、作業服等	○ A	—	—	○ G	/	/	/	主要な観点が異なり整合していない
公共工事	資材－衛生器具 ・自動水栓	○ A	—	○ E、F★	○ G	/	/	/	節水性能に関する観点は共通しているが、基準レベルは各国で異なる
	・自動洗浄装置及び その組み込み小便器	○ A	—	○ E	○ G	/	/	/	節水性能に関する観点は共通しているが、基準レベルは各国で異なる
	・洋風便器	○ A	—	○ E、F★	○ G	/	/	/	節水性能に関する観点は共通しているが、基準レベルは各国で異なる

○：基準が設定されている、—：基準が設定されていない、A: GPP(Green Public Procurement)、B: ENERGY STAR Program、C: CPG(Comprehensive Procurement Guidelines)、D: EPEAT(Electronic Product Environmental Assessment Tool)、E: 中国環境ラベル、F: 省エネ製品ラベル(★印：必須、印無：推奨)、G: 韓国環境ラベル、H: GR(Good Recycle)、I: 台湾グリーンマーク、J: 省エネ認証ラベル